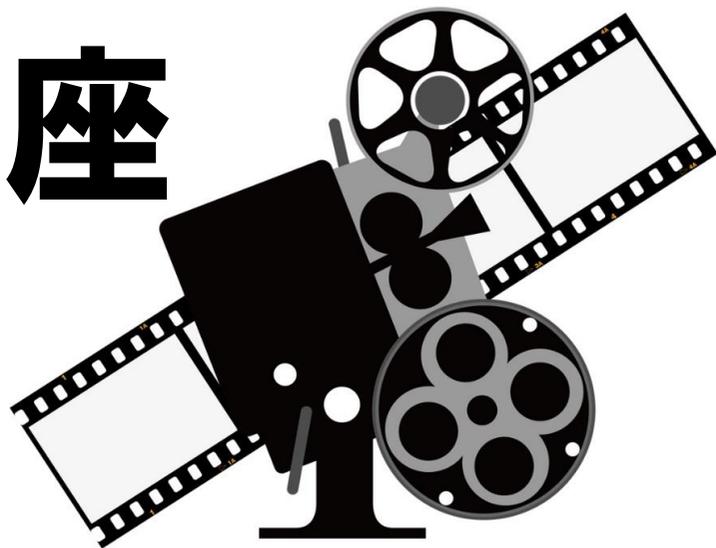


シナリオ講座

応募要項

参加無料(事前に申込みが必要です)



主催/広島市映像文化ライブラリー
協力/フラミンゴ

2022年12月17日(土)、18日(日)

映画やテレビドラマ、そして、小説や漫画など「ストーリー」にご興味をお持ちの方
その面白さを、もっと深めてみませんか
そのテクニックを、学んでみませんか

この講座では、映画の脚本や小説のストーリーを作るベーシックな技術を解説いたします。そこから、映画の新たな面白さ、楽しみ方を発見して、豊かな鑑賞体験に繋げていただきたい、と思っています。そして、創作を志す皆さんは、自身の疑問点・問題点を見出し、解決していきながら、ストーリー創作と脚本執筆のイロハを身に付けていきましょう。(講師:赤城 聡)

講師/赤城 聡(フラミンゴ代表取締役 プロデューサー)

開催日程

■12/17(土) 14:00~18:00

ストーリー理論・脚本理論解説
心を捉えるストーリー、優れた脚本とは?

■12/18(日) 13:00~17:00

ストーリー・脚本作成実践
皆さんのアイデアは、どう変化していくでしょうか?

対象

1. 高校生相当の年齢以上。初心者でも、執筆歴がある方でも、どちらでも参加出来ます。
2. 映画、テレビドラマなど映像作品をもっと深く楽しみたい、自主制作している、脚本に興味がある、書きたい、書いている方
3. ジャンルを問わず、ストーリーを作りたい、語りたいという方
4. 2日間ともに参加できる方。

その他

- ・講座1日目に解説に使用する作品を、受講者に皆さんには事前にご連絡いたします。必ず鑑賞してきて下さい。
- ・講座2日目に、講師及び受講者の皆さんとディスカッションしてみたい企画(脚本、ストーリー、アイデアなど)がある方は、申込時に申請の上、講座1日目に書面でご用意下さい。書式は自由です。
- ・PCやタブレットなどを持ち込んでいただいてOKです。

定員

12名 応募多数の場合は書類選考。
※選考結果は郵送、FAXまたは電子メールでお知らせします。※選考結果についてのお問い合わせにはお答えできません。

応募方法

所定の申込書に必要事項を記入し、映像文化ライブラリーまで郵送、来館、FAXのいずれかでお申込みください。
申込書は <http://www.cf.city.hiroshima.jp/eizou/> からダウンロード、または映像文化ライブラリー窓口にて。

応募期限

2022年11月18日(金) 必着

※シナリオ講座は「広島市高齢者いきいき活動ポイント事業」の対象となります。

広島市映像文化ライブラリー

広島市中区基町3-1 TEL082-223-3525 <http://www.cf.city.hiroshima.jp/eizou/>

■開館時間:火~土曜日 午前10時~午後8時(日曜日、祝日、8月6日は午後5時まで) ■休館日:月曜日(8月6日と祝日は開館)、祝日の振替日、12月29日~1月4日

講師プロフィール

赤城 聡

フラミンゴ代表取締役
プロデューサー

1965年生まれ。立教大学卒業後、レコード会社で音楽制作／宣伝／販売促進などの業務に従事。その後、洋画買付／邦画製作などに携わり、2000年、(有)フラミンゴを設立し、映画プロデューサーとして独立。2004～2006年、ぴあフィルムフェスティバルプロデューサーも務める。

現在、映画のほか、TVドラマ、配信ドラマ、MVなどのプロデュースも手掛け、また、内田けんじ監督、白石和彌監督のエージェントを務めている。

主なプロデュース作品

空の穴 (熊切和嘉監督)
アフタースクール (内田けんじ監督)
食堂かたつむり (富永まい監督)
鍵泥棒のメソッド (内田けんじ監督)
王様とボク (前田哲監督)
凶悪 (白石和彌監督)
先輩と彼女 (池田千尋監督)
クリーピー 偽りの隣人 (黒沢清監督)
日本で一番悪い奴ら (白石和彌監督)
まく子 (鶴岡慧子監督)
凧待ち (白石和彌監督)
Red (三島有紀子監督)
スイート・マイホーム (齊藤工監督) 2023年公開予定

受講申込される方へ ※創作の心得を先にお伝えいたします。ご理解の上、お申込み下さい。

◎洗練された技術と理論

観客に楽しい、面白い、と感じさせる技術は、観客からはほとんど発見できないようになっています。気づかせずに物語、キャラクターに集中させることは、感性に頼るのではなく理論によって成されます。

◎面白い、つまらない、は主観なのか、客観なのか？

自分が「嫌い」「面白くない」と思った際に、その判断を疑ってみることです。論理的に説明出来ないのであれば、独りよがりでは、と省みることが重要です。

◎主人公視点で物語を追い続けない。

主人公視点でばかりその物語の進み方を考えると、その視界だけで時間と空間が構成されてしまいます。観客が主人公に感情移入出来るのは、その周辺環境に疑問や矛盾を持たないからです。

◎描写で説明する。

画と音で人物、状況を説明するように、常に考えること。

例えば、キャラクターの特徴を、「優しい」ではなく、「路上で倒れている人に声を掛けて病院までおぶっていく」というように、表現して下さい。

◎取材、調査、研究を厭わない。

自分の経験、知識、感性だけで、作品制作をしている映画監督、脚本家、小説家、漫画家など作家は、いません。興味を持った題材を調べて発見することから、プロの創作は始まります。取材、様々な資料の調査などを通して、設定を整えると同時に、それまで見えてなかった事実を発見し、ピックアップしてパッチワークする。とても面倒な作業ですが、これがストーリー創作の醍醐味です。

インターネットで調べる程度では足りません。何か効率的で便利な方法ありません。

講師のプロデュース作品に関して、講座前にご鑑賞いただければ、講座内で皆さんのご質問に出来る限りお答えします。

広島市映像文化ライブラリー シナリオ講座申込書

ふりがな		年齢	職業
氏名		歳	
住所	〒		
電話番号			
FAX			
eメール			
選考結果の受取方法	<input type="checkbox"/> 郵便	<input type="checkbox"/> FAX	<input type="checkbox"/> eメール
過去に開催した映像文化ライブラリー主催「シナリオ講座」への参加の有無	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	
創作歴	※映像以外のことでもかまいません。		
応募動機	※この講座で学びたいことなどをお書きください。		
講座2日目にディスカッションしたい企画がある	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
※「はい」の方は簡単にその内容についてご記入ください。			

※この申込書に記載していただく個人情報は、この事業のみに使用し、第三者に提供することはありません。